

買う前に
知って
おきたい

インテリア コーディネートの基本

素敵なお家具を買っても、部屋に置いたら「なぜか部屋になじまなくてがっかり」なんて経験、ありませんか？ そうならないために知っておきたい、インテリアコーディネートの基本を、プロに教えてもらいました。

1. 木の色を合わせる

テーブルやイス、チェストなど、ひと部屋に複数の木製家具を置く場合、木の色をそろえるとしっくり収まります。素材も大切ですが、まずは色を第一に考えましょう。ドアや梁（はり）など、部屋に最初から付いている木製建具の色も考慮できれば、よりセンス良く見えます。

2. テイストをそろえる

一つの部屋の中に、シンプルなものと同重厚なものなど、テイストが異なる家具が同居しているとちぐはぐな印象になります。買い足す場合は、手持ちの家具と雰囲気合っているかどうか、一度考えてみて。テイストが分からない場合は、同じ店で購入するのも一つの手法です。

3. 色は3色まで

ファッション同様、インテリアでも色使いはボリュームとバランスが決め手。部屋の中の色彩は3種類までにとどめ、そのバランスは、「ベーシックカラー7割、アソートカラー2割、アクセントカラー1割」とされています。ベーシックカラーは床や天井、壁紙など、部屋の中で大きな面積を占めるものによって決まります。アソートカラーは部屋の印象を決める色で、ソファやカーテン、ラグマットなど、自分でチョイスできる大きめの家具によります。アクセントカラーは、部屋全体を引き締めたり、変化をつける“差し色”。クッションや雑貨など、小さなインテリアで取り入れます。アソートカラーに合わせた効果的な色を選ぶのがポイントです。下図は「マンセルの色相環」と呼ばれる色の対系図。反対側に位置する色同士（相対色）が引き立て合うと言われているので、参考にしてみてください。

マンセルの
色相環



教えてくれたのは 墨谷展子さん
テレビや雑誌などで活躍中のインテリアコーディネーター。リビング・シングス代表